

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

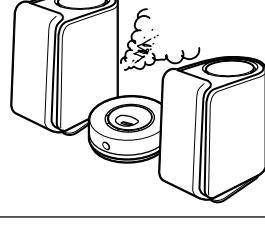
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 1 電源を切る
- 2 ACパワーアダプターをコンセントから抜く
- 3 USBケーブルを抜く
- 4 ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

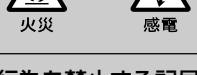
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



⚠️ 危険 下記の注意事項を守らないと

火災・感電・発熱・発火により**死亡や大けが**の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターを使わない 必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。

破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



⚠️ 警告 下記の注意事項を守らないと

火災・感電により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

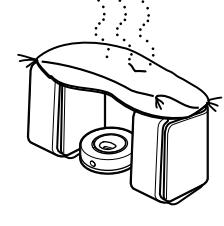


ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない感電の原因となることがあります。



本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



SONY

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠️ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-NWZ10

© 2006 Sony Corporation Printed in China

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について :

付属のACパワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント(AC 100-240 V)につないでお使いください。

ACパワーアダプターについて :

ACパワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACパワーアダプターを持って抜いてください。

留守にするときは :

本機の「電源」ボタンをスタンバイにしただけでは、電源は完全に切れていません。ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ずACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について :

特に、ジャック部には異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら :

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐにACパワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など、湿気の多い所。
 - ほこりの多い所、砂地の上。
 - 時計、キャッシングカードなどの近く。(防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシングカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。)
 - 平らな場所に設置してください。
 - 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
 - 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーの近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型(JEITA*)のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起る場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15~30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

主な仕様

スピーカー部

型式 2Way パッシブラジエーター型
防磁型 (JEITA*)
直径 80 mm (ウーファー)
直径 25 mm (ツイーター)

インピーダンス

定格入力

最大入力

アンプ部

実効出力

クレードル部

入出力

入力

電源部・その他

電源

最大外形寸法

質量

付属品

対応機種 (ウォークマン)

WM-PORT (22ピン) 搭載
丸型アタッチメント付属

別売りアクセサリー

録音用ケーブル WMC-NWR1
(ステレオミニプラグ ↔ WM-PORT (22ピン) コネクター)

プラグアダプター

PC-234S
(ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニジャック)

PC-236MS
(ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック)

接続コード

RK-G22
(ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニプラグ) (1.5m)

RK-G129
(ステレオミニプラグ ↔ ピンプラグ×2) (1.5m)

RK-G136
(ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ) (1.5 m)

RK-G138
(ステレオ2ウェイプラグ ↔ ステレオミニジャック) (3 m)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

* JEITAは(電子情報技術産業協会)の略称です。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口
フリーダイヤル
0120-333-020

修理相談窓口
フリーダイヤル
0120-222-330

携帯電話：PHS一部のIP電話
0466-31-2511

携帯電話：PHS一部のIP電話
0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はごちあへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389
受付時間 月~金:9:00~20:00 土・日・祝日:9:00~17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠️ 警告

ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因となることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠️ 警告

ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因となることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠️ 注意

ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

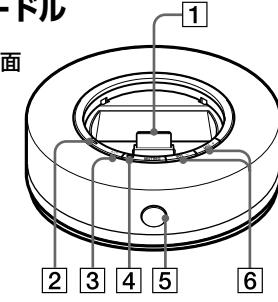
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因となることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

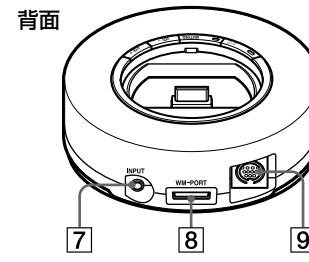
液が身体や衣服についたときも、やけどやけの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

各部のなまえ

クレードル



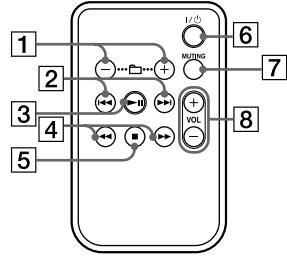
① WM-PORTコネクター(ウォークマン*接続用)
② I/O(電源/スタンバイ)ランプ
③ I/O(電源/スタンバイ)ボタン
④ MUTINGランプ
⑤ リモコン受光部
⑥ VOL(音量)+/-ボタン



⑦ INPUT(音楽入力)端子
⑧ WM-PORTジャック(パソコン接続用)
⑨ L OUT ジャック

* "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

リモコン



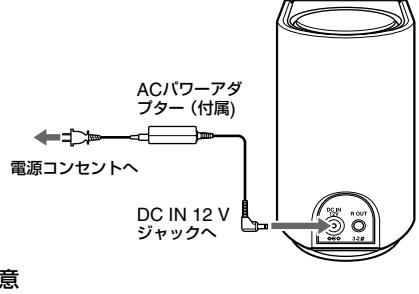
① □ (フォルダー) +/- ボタン
② ▲ ▶ (頭出し) ボタン
③ ▶ II (再生/一時停止) ボタン
④ ▲ ▶ (早送り/巻戻し) ボタン
⑤ ■ (停止) ボタン
⑥ I/O(電源/スタンバイ)ボタン
⑦ MUTING(消音) ボタン
⑧ VOL(音量) +/- ボタン

□ (フォルダー) +/- ボタンは、お使いのウォークマンが選択している曲の並び順で、グループの最初の曲を頭出します。

ご注意
リモコンの一部の動作は、お使いのウォークマンの仕様によっては、表示と異なったり操作できない場合があります。

電源について

付属のACパワーアダプターを本機に接続します。



ご注意

- ACパワーアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。
付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



準備する

1 アタッチメントを取り付ける/取りはずす。

取り付けかた

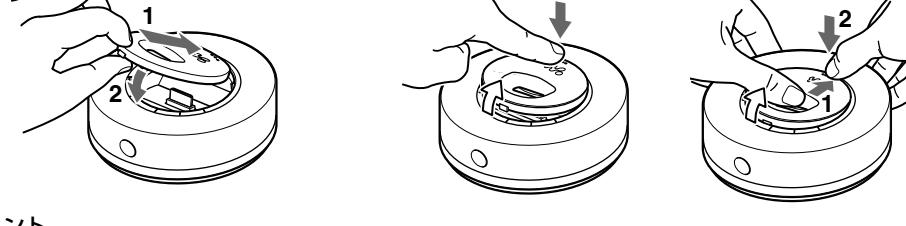
お使いのウォークマンに付属しているアタッチメントを本機に取り付けます。ロゴマーク側にある2ヶ所のツメをクレードルにある穴の位置に合わせて先にはめ込んでから、ロゴマークの反対側を指で押しこみます。

取りはずしかた

アタッチメントを取りはずすには、「はずしかた1」のようにアタッチメントのマーク(○○○)位置を指で押します。または「はずしかた2」のようにアタッチメントのウォークマンセット部分をクレードル背面側に押し込みながら、マーク(○○○)の位置を上から押します。

はずしかた1

はずしかた2

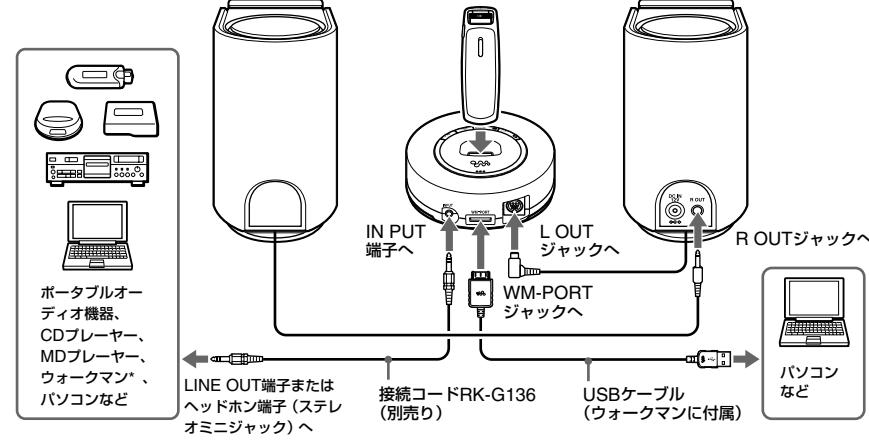


※ ヒント

- 以下の条件を満たすウォークマンで、ご利用になります。
 - WM-PORT(22ピン)搭載
 - 丸型アタッチメント付属
- お使いのウォークマンによって、アタッチメントの形状が異なる場合があります。

2 本機を接続する。

本機で音声を再生する場合やウォークマンにデータ転送する場合は、以下の接続を行ってください。



右スピーカーから音が出ないときは

モノラルジャックに接続したときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)に接続するには

別売りの接続コードRK-G22または別売りの接続コードRK-G136およびプラグアダプターPC-234Sをお使いください。

ご注意

- 本機のWM-PORTコネクターにウォークマンを取り付けたまま持ち運ばないでください。故障や事故の原因になります。
- ウォークマンをクレードルの奥までしっかりと挿し込んでください。

3 リモコンの準備をする。

絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にする。
リモコンには電池がすでにっています。

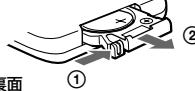


電池の交換について

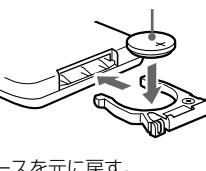
電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。

下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。
ふつうの使い方で約6ヶ月もします。

1 電池ケースを取り出す。



2 +と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2025を新しい電池と取り換える。



3 電池ケースを元に戻す。

ご注意

- リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

接続した機器を再生する

1 本機とパソコンを接続している場合は、USBケーブルをはずす。またはパソコンの電源をOFFにする。

ご注意

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているときは、WM-PORTコネクターに取り付けたウォークマンの音声は再生されません。
- お使いのパソコンの仕様によっては電源をOFFにしても、ウォークマンの音声が再生されない場合があります。
- INPUT端子に取り付けた機器の音声は再生されます。

2 本機のI/Oボタンを押して電源を入れる。

I/Oランプが点灯します。

3 接続した機器を再生する。

※ ヒント

本機のWM-PORTコネクターに取り付けたウォークマンは、本機付属リモコンから操作することができます。

4 音量を調整する。

本機のVOLUME +/- ボタンで調整します。

ご注意

音量を最小または最大にしたときは、「ピピッ」というビープ音が聞こえます。

5 使用後はI/Oボタンを押して電源を切る。

I/Oランプが消灯します。

本機のWM-PORTコネクターに取り付けたウォークマンが再生中の場合、自動的に停止もしくは一時停止*になります。

* ご使用のウォークマンによって動作が異なります

ご注意

- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザ機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひずむことがあります。
- ヘッドホンジャックがLINE OUT端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力をLINE OUT出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- WM-PORTコネクターに取り付けたウォークマンとINPUT端子に接続した機器の両方を同時に再生すると、音が混ざって聞こえます。
- 本機とパソコンを接続するUSBケーブルは、ウォークマンのデータ転送と充電用です。パソコンの音声を本機で再生するときは、INPUT端子に接続してください。
- 本機のWM-PORTコネクターにウォークマンを取り付けた場合、ウォークマン内の音声レベルが大きいと、スピーカーから出力される音声のイコライザ効果が弱くなる場合があります。
- 本機のWM-PORTコネクターにウォークマンを取り付けた場合、ウォークマンのヘッドホンジャックから音声は出力されません。

ウォークマンに充電する

本機にACパワーアダプター(付属)を接続しているとき、もしくは本機とパソコンをUSBケーブル(ウォークマンに付属)で接続しているときは、WM-PORTコネクターに取り付けたウォークマンを充電できます。

ご注意

- ウォークマンをクレードルの奥までしっかりと挿し込んでください。
- 充電状態、設定について詳しくは、ウォークマン本体の操作ガイドをご覧ください。
- データの転送と充電を同時にすることはできません。
- 再生と充電を同時にすることはできます。再生中の充電時間は長くなります。
- ACパワーアダプターとUSB接続での充電時間は異なります。詳しくは、ウォークマン本体の操作ガイドをご覧ください。

ウォークマンとパソコンの間でデータを転送する

本機とパソコンをUSBケーブル(ウォークマンに付属)で接続しているときは、本機のWM-PORTコネクターに取り付けたウォークマンとパソコンの間でデータを転送できます。転送方法について詳しくは、お使いのウォークマンの操作ガイドをご覧ください。

ご注意

- パソコンからデータ転送中に、ウォークマンがクレードルからはずされた場合は、ウォークマンをもう一度クレードルに取り付け、転送をやり直してください。
- パソコンからデータ転送中は、USBケーブルやACパワーアダプターの抜き差しをしないでください。パソコンがウォークマン本体を認識できなくなったり、データ転送が中断する場合があります。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているときは、WM-PORTコネクターに取り付けたウォークマンの音声は再生されません。INPUT端子に取り付けた機器の音声は再生されます。

ウォークマンに録音する

本機のWM-PORTジャックに別売りの録音用ケーブル(WMC-NWR1)を使ってCDプレーヤーなどの音楽再生機器を接続し、本機のWM-PORTコネクターに取り付けたウォークマン*に録音することができます。

* WM-PORT(22ピン)と録音機能が搭載されているウォークマンに限ります。

ご注意

- 本機の電源がスタンバイの場合は、録音することはできません。
- 録音方法について詳しくは、ウォークマンの操作ガイドをご覧ください。

故障かな?と思ったら

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|--|--|
| 音が割れる、またはノイズが出る | 入力信号が大きすぎる。 | 接続した機器の音量を下げる。 |
| | 接続した機器のバスブースト機能を使用している。 | バスブースト機能を解除する。 |
| | 接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。 | 接続した機器のLINE OUT端子に接続する。またはLINE OUT出力に設定する。 |
| 音が小さい、または音が出ない | ウォークマンのWM-PORTジャックまたは入力コードがしっかりと接続されていない。 | いったんはずして接続し直す。 |
| | テレビに近すぎる所に設置されている。 | テレビから離して設置する。 |
| I/OボタンがOFFになっている。 | I/OボタンをONにする。 | |
| VOLUME +/- ボタンが最小に絞られている。 | VOLUME +/- ボタンで調節する。 | |
| ウォークマンのWM-PORTジャックまたは入力コードがしっかりと接続されていない。 | いったんはずして接続し直す。 | |
| 入力信号が小さすぎる。 | ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。 | |
| クレードルとパソコンをUSBケーブルで接続している。 | USBケーブルをはずす。またはパソコンの電源をOFFにする。 | |
| リモコンで操作できない | クレードルから離れて操作する。 | リモコン受光部に近づけて操作する。 |
| | クレードルのリモコン受光部の前に障害物が置いてある。 | リモコン受光部の前から障害物を取り除く。 |
| | クレードルのリモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっている。 | リモコン受光部に光が当たらないようにする。 |
| 電池が消耗している。 | 新しい電池と交換する。 | |
| リモコンに電池が入らない(きつい) | 電池を逆に挿入できない構造になっています。極性(+/−)を確認して正しく入れてください。 | |
| I/Oランプがちらつく | 音量を上げたときにI/Oランプがちらつくことがあります。故障ではありません。 | |

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はアダプティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するため必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ご注意

- WM-PORTは、ウォークマンとアクセサリーを接続する専用マルチ接続端子です。
- WM-PORTコネクターはWM-PORT(22ピン)搭載のウォークマンでご利用になります。
- 本機に応対する機種および関連情報について詳しくは、ウォークマン・カスタマーサポートのホームページ(<http://www.sony.co.jp/walkman-support/>)をご覧ください。

ご愛用者アンケートのお願い

今後よりよい製品作りの参考にさせていただきますので、お答えいただける範囲で下記ホームページからアンケートにご協力をお願い致します。

<http://www.sony.co.jp/uc/>